

# このへ 議会 会だより

Gonoh Assembly News

議会広報  
平成30年1月  
第26号

第18回定例会(平成29年12月定例会)

第17回臨時会……………	2	第18回定例会……………	2	一般質問(4人)……………	4	編集後記……………	10
所管事務調査……………	8	県外視察報告……………	9	議員活動報告……………	10		

## 叙勲・表彰 デフリンピック競技大会 陸上男子400mリレー 金メダル受賞



第23回夏季デフリンピック競技大会サムスン2017  
陸上男子400mリレー 金メダル(日本新記録)  
佐々木 琢磨 選手 町スポーツ栄誉受賞式にて  
受賞者略歴 生年月日 平成5年11月30日生  
住 所 五戸町大字切谷内字粒ヶ谷地  
平成28年4月～仙台大学 新助手  
\*デフリンピックとは4年に1度世界規模で行われる聴覚障害者のための  
総合スポーツ競技大会

# 第17回 平成29年11月 臨時会

11月6日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
1件	0件	1件	0件

## 町長提出案件

財産の無償貸付け 1件

●貸付けの相手方  
社会福祉法人

サポートセンター虹  
・旧石沢小学校 学校グ  
ラウンド

障害福祉サービス事業  
を実施することにより  
地域福祉の増進に資す  
るため。

## 審議の結果

全員賛成で可決

●専決処分の承認 1件

●平成29年度一般会計補  
正予算(第3号)

・補正額(増額)  
1千655万1千円

・予算総額  
100億7604万

9千円

## 審議の結果

全員賛成で承認

●人事 1件

●表彰審議会委員の指名

川村 浩 昭 議員

# 第18回 平成29年12月 定例会

12月7日から12日までの6日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 18件			
原案可決	同意	承認	認定
17件	0件	1件	0件

## 町長提出案件

専決処分の報告 1件

●損害賠償額の決定

●道路上の舗装劣化によ  
る車両物損事故に関す  
る損害賠償の和解の成  
立と額の決定

・損害賠償額

14万9千円

町道上保土沢地藏平線  
\*報告は採決しません。

●条例の制定 1件

●五戸町薬剤師修学資金  
貸付条例の制定

・総合病院における薬剤  
師の確保を図ることを  
目的としたもの。

●条例の一部改正 1件

●五戸町病院事業の設置  
等に関する条例の一部  
改正

・五戸町健診センターに  
おける検査手数料の見  
直し。

## 審議の結果

全員賛成で可決

●補正予算 10件

●一般会計補正予算  
(第4号)

・補正額(減額)

△4億8543万

6千円

・予算総額(補正後)

95億9061万3千円

主な内容

・国民健康保険特別会計  
繰出金

1472万6千円

・子どものための教育・  
保育給付費

1496万6千円

・下水道事業特別会計繰  
出金

△728万2千円

・八戸地域広域市町村圏  
事務組合負担金

△5億4174万

2千円

●後期高齢者医療特別会  
計補正予算(第2号)

・補正額(増額)

137万9千円

・予算総額(補正後)

4億4028万1千円

主な内容

・療養給付費定率市町村  
負担金

1613万3千円

●国民健康保険特別会  
計補正予算(第3号)

・補正額(増額)

7212万6千円

・予算総額(補正後)

27億3835万9千円

主な内容

・一般被保険者療養給  
付費

8499万4千円

- ・過年度分返還金 4119万8千円
- ・一般会計繰出金 1935万5千円

主な内容

- ・残留塩素測定器

33万7千円

●**下水道事業特別会計補正予算(第2号)**

正予算(第2号)

- ・補正額(減額)

△186万8千円

- ・予算総額(補正後)

4億1776万1千円

主な内容

- ・管路施設工事

300万円

- ・馬淵川流域下水道事業費負担金

△261万6千円

●**農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第2号)**

(第2号)

- ・補正額(増額)

30万円

- ・予算総額(補正後)

1億1745万2千円

主な内容

- ・修繕料

●**簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)**

補正額(増額)

- ・補正額(増額)

54万8千円

- ・予算総額(補正後)

1億315万5千円

主な内容

- ・住宅用地造成事業特別会計補正予算

(第1号)

補正額(増額)

- ・補正額(増額)

285万4千円

- ・予算総額(補正後)

672万5千円

主な内容

- ・一般会計繰出金

ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)

補正額(増額)

224万6千円

- ・予算総額(補正後)

3383万4千円

主な内容

- ・ケーブルテレビ事業基金積立金

病院事業会計補正予算(第2号)

収益的収入

5821万8千円減の

29億1717万7千円

主な内容

- ・入院患者数の減に伴う収入の減額

収益的支出

5596万3千円減の

29億2280万9千円

主な内容

- ・人件費の減額

- ・資本的支出

建設改良費166万4千円を追加し6億96

67万4千円

審議の結果

全員賛成で可決

議会提出案件

議案案 1件

「道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率の高上げ措置の継続を求める意見書」について

審議の結果

全員賛成で可決

追加提案案件

条例の一部改正 4件

五戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議会議員の期末手当の支給割合を改める。

議会議員の期末手当の支給割合を改める。

議会議員の期末手当の支給割合を改める。

議会議員の期末手当の支給割合を改める。

議会議員の期末手当の支給割合を改める。

議会議員の期末手当の支給割合を改める。

議会議員の期末手当の支給割合を改める。

●**五戸町長の給与に関する条例の一部改正**

町長等の期末手当の支給割合を改める。

●**五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正**

特別参事の期末手当の支給割合を改める。

●**五戸町職員の給与に関する条例の一部改正**

職員の給料表及び手当の支給割合を改める。

●**人権擁護委員の推薦**

野村英治氏 (64歳)

●**人事 1件**

●**審議の結果**

●**五戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正**

議会議員の期末手当の支給割合を改める。

陳情 1件

●**五戸高等学校に関する陳情書(町立高等学校として存続を望む陳情書)**

総務常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果

採決により委員5人中、賛成3人

採決(願意妥当)

本会議での審査

問 川村浩昭議員

この陳情を「採択」ということで町長に報告するということは町立で高校を運営するという方向で決定になるのではないかと。そうすれば縛りが生じないか。この案件は「継続審査」が妥当ではないか。

答 松山総務常任委員長

委員会においても「継続審査」の意見があり多数決により採択になった。あくまでも町立で高校を残して欲しいという趣旨に対する採択ということ。

この陳情書に対して判断しかねるため退場

(沢田良一議員・川村浩昭議員・大沢義之議員・川崎七洋議員)

採決に異議ありの声

起立採決

賛成議員

古田 陸 夫議員

大沢 博議員

松山 泰 治議員

尾形 裕 之議員

若宮 佳 一議員

高山 浩 司議員

大久保 和 夫議員

鈴木 隆 也議員

以上8名

起立多数により

採決(願意妥当)

採決(願意妥当)

採決(願意妥当)

12月定例会では4人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



たかやま こうじ  
高山 浩司 議員

### ◆個別処理方式に切り替えるべきでは

町長 今年度中に方向性を決めたい

9千万円)と見込んでいる。の減額となる。

#### 質問②

現在進めている公共下水道事業を休止又は中止し、個別処理方式に変更した場合、町の財政負担額は。

#### 答三浦町長

公共下水道事業を休止又は中止した場合、国からの補助金を除く町の財政負担額は、約7千万円相当が減額となる。個別処理方式に変更した場合、年間40基を整備するとして、公共下水道事業と比較すると町の財政負担額は約6千600万円の減額となる。  
市町村設置型で整備すると、約5千800万円

### ◆現在の町長の立場は

町長 従来の三つの選択肢があるという立場

#### 質問

9月より、副町長を幹事長とする五戸高等学校対策幹事会が組織され、あらゆる角度から五戸高校の存在について検討している。また、町長自らも町立高校の先進地を視察研修し、生の声を聞いてきたと思う。これらを

#### 答三浦町長

町村立よりは組合立、あるいは私立での学校運営、又は全てを断念するという、三つの選択肢があるという以前からの立場に変わりがない。

踏まえ、町長の現在の基本的立場は。

このようなサービスを実施する予定はないのか。

#### 答三浦町長

システム改修だけで約4千700万円の経費が掛かり、それ以外にも委託料等の支払があること、当町において個人番号カード発行の普及率の低さも考えると、当事業の実施は難しいものと考えている。

公共下水道事業をこのまま継続した場合、事業の完了年度および総事業費はいくらになるのか。

#### 質問①

#### 答三浦町長

また、事業費財源内で起債を含め、町の負担額はどのくらいになるのか。  
現在の建設事業費1億2千万円で継続した場合、平成51年度に事業完了する見通しであり、平成30年度以降で約26億円を見込んでいる。起債償還分を含めた町の負担額は、平成51年度までで総額約19億円(年間平均約



公共下水道及び農集排問わず約50%が望んでいる。

#### 答三浦町長

### ◆コンビニ交付サービスの導入を

町長 実施は難しい

#### 質問

八戸市では平成28年8月から、個人番号カードを利用して、全国のコンビニに設置されているマ

ルチコピー機で、住民票や印鑑登録証明書などの証明書が取得できるコンビニ交付サービスを開始した。五戸町としては、



# 一般質問



とよ た お 豊田 孝夫 議員

## 質問①

これまでの経過報告を兼ね住民説明会や、意識調査の考えはないか。

## 答三浦町長

平成の大合併の際は住民一人一人の身分に関わることからアンケート調査を実施したが、高校問題は全住民に関わるとは言えず、次元が違う問題と認識している。今のところ意識調査をする考えはない。五戸高校同窓会PTAなどによる存続期成同盟会や議会の意見を聞き最終的には町長が判断する。

## ◆五戸高校存続に関する地域住民の意識調査は

町長 住民意識調査をする考えはない

## 質問②

町立にこだわらない形での存続策は。

## 答三浦町長

町立が困難な場合は私立高校として存続も一つの方向性としてはあると思う。

## ◆五戸町自主防災組織の組成と育成は

町長 母体団体は既存の団体が相応

## 質問①

自主防災組織の母体団体をどのように考えているのか。

## 質問②

組成と既存組織の育成支援策は。

## 答三浦町長

自治会、婦人会など既存の団体を母体とした組織づくりを考えている。

## 答三浦町長

事務的な支援や訓練、資機材の補助、人材育成等を考えている。

## 質問③

組成にいつから取組み何組の組成を予定しているか。

## 答三浦町長

具体的には構想の段階だが、平成30年度から5年ぐらいの期間をみている。何組組成にするかはこれから検討する。

## 質問④

組成後の存続のための施策は。

## 答三浦町長

日常の地域活動を住民に理解して頂きたい。

## ◆国道4号線沿いに道の駅を新設する計画はないか

町長 これまで計画はなかった

## 質問①

町に人を呼び込むために国道4号線沿いに道の駅を新設し、五戸町の知名度アップと集客効果を高める施策を打ち出してはかがかか。

## 答三浦町長

産直施設は地藏平にありそれなりに賑わっている。福祉についても子育て支援できるような「まちの駅」にしたい。高齢者にも使いやすいものにつくりたい。

## 答三浦町長

町内の空洞化を招きかねないので構想にはなかった。

町の中心街の振興のために「まちの駅」が計画中で進んでいる。

## 質問②

産直施設を兼ねることが出来るので産業振興に効果が期待できるし、また、福祉・防災機能を持たせることも出来るがいがかか。



五戸町防災訓練の様子



産直ふれあい市ごのへ



おがた ひろゆき 尾形 裕之 議員

◆五戸まつりの大名行列の意味は

町長 各関係機関から聞いたが  
解らない

答 小村企画振興課長

五戸町の町章を家紋の代わりに使うのは、町と議会と協議し実行委員会へ申請し、役員会で図るべきだったが、その議論もなく焼失前の家紋をそのまま継続した。

質問 ③

袴にある家紋は、稲荷神社の「稲荷玉」だが、神事であるそれを議員の行列の袴につけていいか。検討すべきでは。

答 小村企画振興課長

二月の五戸まつり実行委員会の会議に諮りたい。

質問 ④

そもそもその大名行列には意味があるのか。

要望

祇園まつりにしても他の祭りにしてもそれぞれお祭りのパレードには



昭和56年当時の大名行列

答 三浦町長

五戸町観光協会、三社協議会、その他各関係機関に問い合わせたが「解らない」との回答であった。昭和40年当時の書類にも大名行列の意味について記載はなくお祭りを華やかに盛り上げようという事だと推測する。

◆除雪の基準はあるのか

町長 積雪 10cm 目途

質問 ①

当町の除雪基準の内容は。

答 三浦町長

町では除雪計画書を作成し基準を定めている。概ね積雪10cmに達した場合作業を行っているが主要幹線道路で交通に支障をきたすと判断した場合は、降雪量によって夜間

味がある。12月19日に町民大学で「五戸郷に移った鎌倉武士たち」と題した講演があるが、その鎌倉武士のパレードであれば、五戸の歴史を掘り起こし、意味のあるものになるはず。実行委員会に諮って検討していただきたい。

◆いま現在の肉牛補助金は

町長 補助金一つ  
貸付け事業が二つ

質問 ①

肉牛補助金は現在何々あるのか。

答 三浦町長

一農家20万円を上限とする「黒毛和牛増頭対策事業補助金」、基金を活用した無利子の貸付け事業で肉用繁殖雌牛一頭につき60万円までの「高齢者等肉用牛導入事業」、繁殖牛導入及び肥育のための一頭30万円まで2頭分までの貸付け「肉用牛一貫経営支援事業」の3つある。

答 畑山農林課長

貸付け基金の運用は将来の経営も関係してくるので複数頭貸付けも可能となるよう検討する。



黒毛和種繁殖雌牛

質問 ②

経営面でみると若手新



# 一般質問



「まちの駅」建設予定地  
図書館南側芝生広場



鈴木 隆也 議員

**質問①**  
「まちの駅」整備事業の進捗状況は。

**答三浦町長**  
現在、基本構想及び基本計画を作成中。全体計画のおよそ25%の進捗状況。平成32年春の開業を目指している。

◆「まちの駅」をどのように活用して  
中心商店街を活性化させるのか

町長 町内外の人々を集客し、  
町歩き観光などの拠点にする

**質問②**

建設地、施設規模、施設利用計画、年間管理費、施設管理者を現時点でどのように考えているか。

**答三浦町長**

建設地は五戸町図書館南側芝生広場を考えている。

施設規模は2階建て延床面積400㎡程度、建設費を約2億5千万円見込んでいます。  
利用計画は町歩き観光の拠点及び子育てサポート支援を図りながら若い子育て世代が集える場所とし、町の名所、特産品の紹介等を考えています。  
年間管理費は規模内容等が確定していないので積算できないが、水道光熱費などの基本的な管理

費は400万円程度と見込む。

管理者は町か町内の既存の団体並びに、一般公募とするか検討中。

**質問③**

中心商店街活性化のために始動した事業だが、具体的に「まちの駅」を活用し、どのような過程を経て中心商店街が活性化すると考えているか。

**答三浦町長**

町内外のお客様を「まちの駅」に集客し、町歩き観光や新たな観光ツアー等の拠点として活用し、商店街活性化に結びつけた。今後も商工会及び中央商店会などと協議し活性化に繋がる方策を検討する。

◆町職員の来庁者に対する挨拶の重要性を  
如何にお考えか

町長 人間関係が良くなりメリットは大変大きい

**質問①**

五戸町職員の接遇の教育は。

**答三浦町長**

新採用職員から管理職員に至るまで、青森県自治研修所で行われる基本研修を受講している。

また、必要に応じ所属長が個別に指導や注意を行っている。

**質問②**

三戸郡内の町村間で職員の相互交流を行えば、接遇を初め様々な利益が生ずると思われるが、実施する考えは。

**答三浦町長**

郡町村会で最近話題になっている。可能かどうか郡町村会でアンケート

調査を実施したい。

**質問③**

各課窓口の形態が利用者にとって不便だ。改善する考えは。

**答三浦町長**

他の自治体の良いところを取り入れ、改善していきたい。

**質問④**

来庁者に対する挨拶の重要性をどのように認識しているか。

**答三浦町長**

明るく元気に挨拶すること、好印象となり人間関係が良くなる。メリットは大変大きい。  
しかし、職員の中には業務の多忙さなどで心に

余裕がないことから、うまく挨拶ができていない職員もいる。  
研修や職場の環境改善を図り、気持ちよい挨拶の習慣づけを行っていく。



# 所管事務調査

## 総務常任委員会

10月19日実施

調査内容

○教育環境の現状について

町立学校関係者から現在の管理状況や学校要望等、説明を受けながら現地調査を行った。

学校要望  
・上市川小学校  
(昭和51・1校舎完成)



上市川小学校旧教員住宅

約20年間使用されていない旧教員住宅の撤去。  
約26年塗装工事していない体育館屋根修繕。  
校舎敷地内の舗装補修。

・切谷内小学校

(昭和53・2校舎完成)

時間割等印刷できる大判プリンター購入。

校地内樹木の伐採・撤去。  
校舎屋上防水改修等。

・五戸中学校

(昭和54・3校舎完成)

校舎内網戸設置。(夏期講習においてハチ・アプが入ってくるのを防ぐため)

屋根・校舎壁・外壁の塗装修繕。



五戸中学校 校長室にて

・川内中学校

(昭和48・3校舎完成)

野球グラウンド内改修工事。

生徒玄関前ブロック壁撤去及び道路拡幅。

講堂屋根塗装工事。  
教室床タイル貼り。

## 総務常任委員会(6人)

総務、税務、教育及び選挙に関する事務並びに他の常任委員会の所管に属しない事務を所管する。

委員長 松山 泰治

副委員長 沢田 良一

委員 鈴木 隆也

委員 高山 浩司

委員 尾形 裕之

委員 柏田 雅俊

昨年度の調査実績

○ひばり野サッカー場

管理棟

○ひばり野陸上競技場

管理棟

○倉石地域振興公社

## 経済常任委員会

10月3日実施

調査内容

○(株)鈴木農園(旧又重小学校)現地調査

○天候不順による稲作・畑作への影響調査

(株)鈴木農園関係者及び農林課職員から現在の状況についての説明を受けながら、現地調査を行った。



(株)鈴木農園 工場長の説明

廃校校舎(平成7年建設)を利活用し、黒ニンニクを製造、町内産の果物を使用したドライフルーツの商品開発を目指す。

町内からパートも含め数名雇用。

・又重、手倉橋、川内地区の水稲の状況

3地区においては、は良好。ほ場によって収量が大きく違う。



手倉橋地区の水稲状況

・浅水地区のリンゴの状況

落果や樹上損傷など強風被害がある。また、手の加えられていない果樹園が目立つ。

・地蔵平地区の長いも、ゴボウの状況

場所によるが生育は平年よりやや小さい。

## 経済常任委員会(5人)

産業経済、土木建設に関する事務を所管する。

委員長 大沢 義之

副委員長 三浦 俊哉

委員 大久保和夫

委員 豊田 孝夫

委員 三浦專治郎

昨年度の調査実績

○五戸川 of 管理状況

○浅水川 of 管理状況

○五戸川魚道

○天満下土地改良区頭首  
工整備状況

## 民生常任委員会

10月19日実施

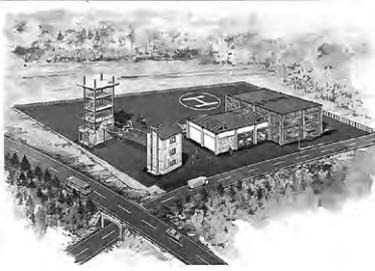
調査内容

○五戸消防署建設進捗状況の現地調査(平成30年完成予定)

○五戸消防署及び五戸町の消防防災について

関係者から現在の建設進捗状況などについての説明を受けながら、現地調査を行った。

# 所管事務調査・県外視察報告



新五戸消防署イメージ

「緊急消防援助隊の概要について」では災害時における各消防機関の連携体制など説明を受けた。また、「五戸消防署の出勤体制について」と題して八戸消防管内において119番通報電話から出動するまでの迅速な動



五戸消防署建設現場

- **民生常任委員会(6人)**
- 社会福祉、消防、上下水道、総合病院、国民健康保険、高齢者医療及び介護保険に関する事務を所管する。
- 委員長 川村 浩昭
- 副委員長 川崎 七洋
- 委員 若宮 佳一
- 委員 和田 寛司
- 委員 大沢 博
- 委員 古田 陸夫
- 五戸消防署建設予定地
- 五戸総合病院



五戸消防署建設進捗状況説明

きを過去の建物火災を例に説明を受けた。



南富良野高等学校

研修期間  
平成29年10月24日、  
25日(1泊2日)

参加議員・和田議長  
若宮議員、松山議員  
大沢(義)議員、川村議員  
高山議員 以上6名

平成29年8月2日に非公開で開かれた議員全員協議会において五戸高等学校存続に対し五戸町議会として調査・検討が必要であるとし、北海道の町立高等学校を視察した。

## 五戸高等学校存続対策に係る議員県外視察

視察先 北海道南富良野町(学校名 南富良野高等学校)

沿革概要  
人口 約2,600人  
昭和23年度道立の分校として設立  
昭和27年度村立に移管  
全日制課程 普通科  
平成29年度全校生徒57名(1学年1クラス編成)

・教職員採用  
教職員14名。町独自の採用ではなく道からの配置に依っている。

・入学試験  
道立高校の入学試験を使用。

・町立運営の経緯  
北海道特有の広大な土地ゆえに、隣町まで40kmから50kmとかなり距離があり、通学が困難である子ども達にも教育を受けられる環境を作りたいという町民の思いから町立の運営は始まる。



南富良野町役場にて

・学校の特徴  
国際交流事業でアメリカ、カナダ等ホームステイ、高大連携事業では大学と部活動の合同練習を実施している。

・カヌー部とカーリング部においては全国大会へ出場するなど力を入れている。

・町から生徒への支援  
教科書購入、通学費、制服購入費、下宿費、各種資格検定料の補助等、多岐にわたって支援制度がある。

・進学、就職について  
進学を希望する生徒に

は、放課後などに進学講習、長期休暇には集中講習を実施するなど受験に向けた対策をしている。就職希望者には、各種資格に向けた指導、実践的キャリア教育を実施。平成28年度は進路決定率100%である。

・南富良野町の今後の課題  
少子化などにより人口が減少傾向にある中、町内は勿論、町外からも生徒が集まるような支援が必要になっている。



五戸高等学校

## 三戸郡議会議員研修会

平成29年10月17日、当町にて三戸郡町村議会議員研修会が開催され、五戸町議会議員は17名が参加しました。

### 研修会内容

五戸町長・階上町長・新郷村長との「町村政に係る施策について」意見交換会

#### 五戸町長

「五戸町廃校校舎等利活用事業について」

#### 階上町長

「階上町のまちづくりポイント」

#### 新郷村長

「新郷村における施策について」

議員から活発な数多くの意見が出されました。



## 第20回連携中枢都市圏の形成に関する勉強会

平成29年10月30日、南部町（温泉保養館バーデハウスふくち）においては八戸連携中枢都市圏形成議員促進連盟主催による勉強会が開催され議員11名が参加しました。

### 講演

「広域連携の現在と将来」

### 講師

全国市議会議長会 次長 栗下 浩三 氏

\*この勉強会は八戸圏域8市町村の振興・発展に資するため、平成21年度より各市町村持ち回りで開催。  
(次回、平成30年2月五戸町で開催予定)



## 編集後記

北朝鮮による拉致被害者の増えるみ子さんの母、信子さんが亡くなりました。未だに北朝鮮に囚われているわが子の事を心配したまま亡くなられた信子さんのことを思うと胸が張り裂けそうです。

拉致被害者及びその家族の高齢化は待ったなしです。もし日本が他の国のような憲法を持っていたならば、拉致被害者を救出できるし、そもそも拉致被害者など出なかつたはずで。

しかし、憲法改正に関する議論はなかなか進んでいません。憲法と云えども人間が作ったものであり、時代にそぐわなければ諸外国のように改正するのが当然のことだと思えます。一日も早い拉致被害者全員の救出が実現するよう、2018年は憲法改正が進む年になつて欲しいと思います。

委員長 高山 浩司

## 議会を傍聴してみませんか

3月定例会は3月8日開会予定です。  
詳しくは議会事務局まで

**TEL 62-2111 (代表)**

日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」  
五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、平成30年4月発行予定です。

議長	和田寛司
発行責任者	三浦俊哉
委員	若宮佳一
委員	鈴木隆也
委員	川崎七洋
副委員長	豊田孝夫
委員長	高山浩司

## 広報常任委員会